

グループ内施設との情報共有で 健康で安心な暮らしを提供する

次世代を担う職員が 安心して働ける場を設立

大阪府吹田市南部に位置する岸部地域では目下、JR岸辺駅前の再開発が進められている。一方で、もともとは農村集落であり、細い路地が多く通り、古くからの大きな木造家屋が立ち並ぶ。また、築50年近い公営住宅もあり、今後は高齢者世帯や独居高齢者世帯も増加していくと考えられる。

そのような地域の状況に鑑み、高齢者の安心な住まいを提供すべく今年2月、住宅型有料老人ホーム「おるそ」(39戸)は、同駅から徒歩約10分の古くからある住宅街の一角に建てられた。運営する株式会社オルソグループは2004年に鍼灸整骨院としてスタート。現

在、医療法人や不動産会社など9法人でグループを形成して診療所や鍼灸整骨院、スポーツジムなど約20事業所を構え、生涯にわたる笑顔と元気であるための健康管理を提供することを使命としている。

また、同社は個々の運動能力と生活環境を考えた総括的サービスを提供を理念に掲げ、これまでデイサービスを中心に介護事業を展開。同社にとって同ホームは初めての居住系施設となる。開設には

地域のニーズはもちろん、今後の経営ビジョンも大きく関係している。

「今後の介護保険制度を考えると、通所系のサービスだけでは安定した経営は困難です。次の世代を担う若手職員が安心して働き続けられる環境を整えたいと思っています。地域のニーズ、経営の安定、



清原累莉子社長



職員は日に日に一体感を増している



住宅型有料老人ホーム「おるそ」の外観

職員の技術・知識向上の3点を考え、同ホームを開設しました」と、清原累莉子社長は説明する。

職員が明確な役割を持ち 質の高いサービスにつなげる

周辺施設への営業活動に加え、8月には交流を目的に地域のケアマネジャー向けのセミナーを開催した。その積極的なPRが功を奏し現在、ほぼ満室となり、入居者の平均要介護度は2.8。需要や同ホームの特徴を考慮し、中度の高齢者を多く受け入れている。



食事はホーム内のキッチンで調理。家庭の味を追求した温かい食事を提供する

同ホームの特徴として挙げられるのが、グループ内施設との連携だ。同ホームに隣接するデイサービスセンター「ひろゴン」では、利用者の運動機能維持に重点を置いたサービスを実践。入居者の多くが、同センターを利用しており、入居者の運動機能などの情報共有を双方の職員間で行っている。

また、同グループの医療法人京優会平海病院も徒歩10分の距離にある。同院が週1回程度、訪問診療を行っているほか、入居者に何か異変があれば、すぐに相談できる体制となっている。加えて、再開発により3年後には同駅前吹田市民病院と国立循環器病研究センターが移転予定で、医療面ではさらに安心な環境が整う。



伸び伸びと過ごせる開放感あふれる食堂・談話室

さらに、正職員、パートの区別なく意見を汲み取る風土を醸成することで、入居者のより質の高いサービスの提供にもつなげている。「イベント係や美化係など正職員、非常勤の区別なく明確な役割を全員に割りあてています。職員の提案で、スイカなどを入居者とともにホーム内で栽培する予定です。ご入居者やご家族からは、グループ内との連携したサービスに加え、家庭的なホームの雰囲気にも満足の声を頂戴しています」と、清原社長は笑顔で話す。

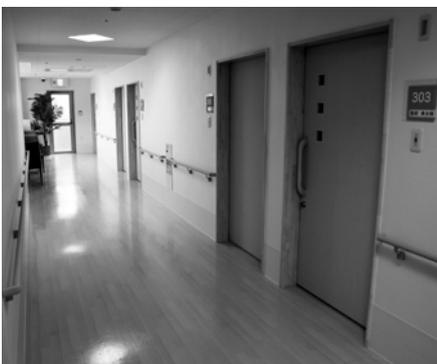
入居者が伸び伸び暮らせる 開放的な空間を演出

とした1階の食堂・談話室は、壁や柱を目立たなくし、入居者が伸び伸びと過ごせるよう工夫されている。また、目立つ色を用いず、誰もが心を落ち着かせられるよう床や扉は木目を基調としている。

この開放的な空間を演出したのが、建設を担当した大和ハウス工業株式会社シルバーエイジ研究所だ。

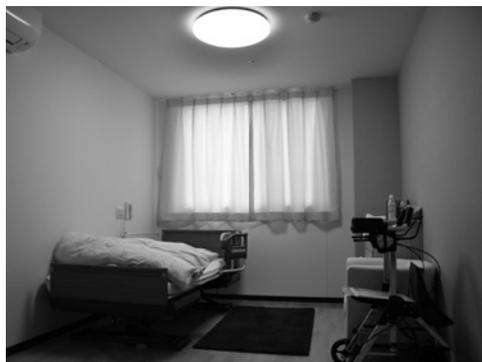
「同社の社員一人ひとりのプロ意識が高いと感じました。営業・設計・工事の方が連携して、こちらの要望に真剣に向き合ってくれました。そのチーム力には感服しました」と、清原社長は評価する。

「さらに社員教育に力を入れ、自身を含め、職員のスキルアップを図りたい」と力強く語る清原社長。



床や扉は木目を基調としている

近隣に居住系施設の新設も念頭に入れ、今後はさらにサービスに磨きをかけて、地域のニーズに添えていく構えだ。



居室はシンプルに。使い慣れた家具などを持ち込み設置

【問い合わせ先】

大和ハウス工業株式会社
シルバーエイジ研究所
大阪市北区梅田3-3-5
TEL 06-6342-1371
東京都千代田区飯田橋3-13-1
TEL 03-5214-2205
<http://www.daiwahouse.co.jp/business/silver/>